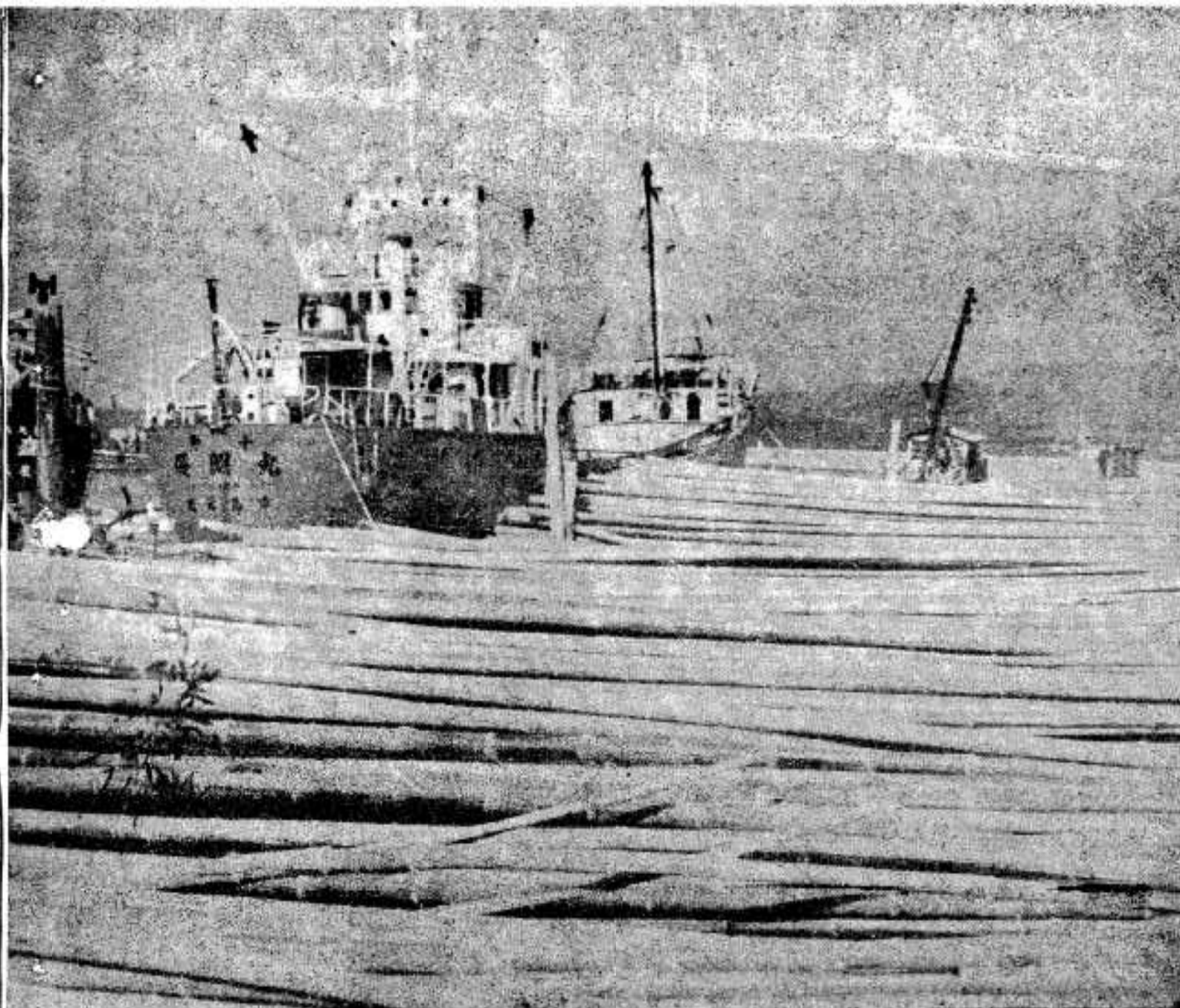


あくね



正月

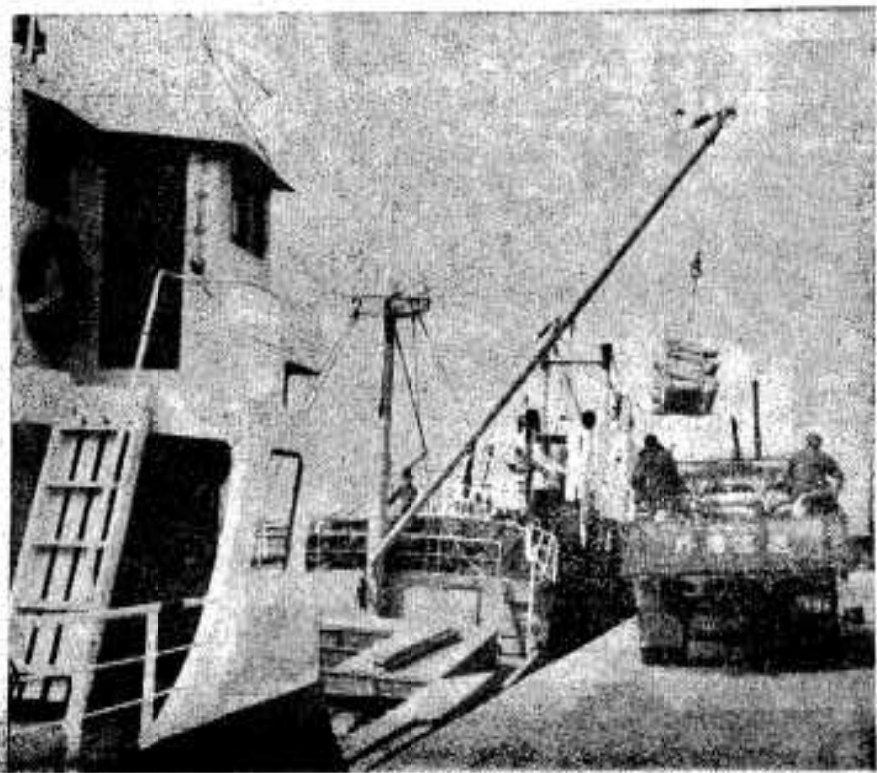
No. 214

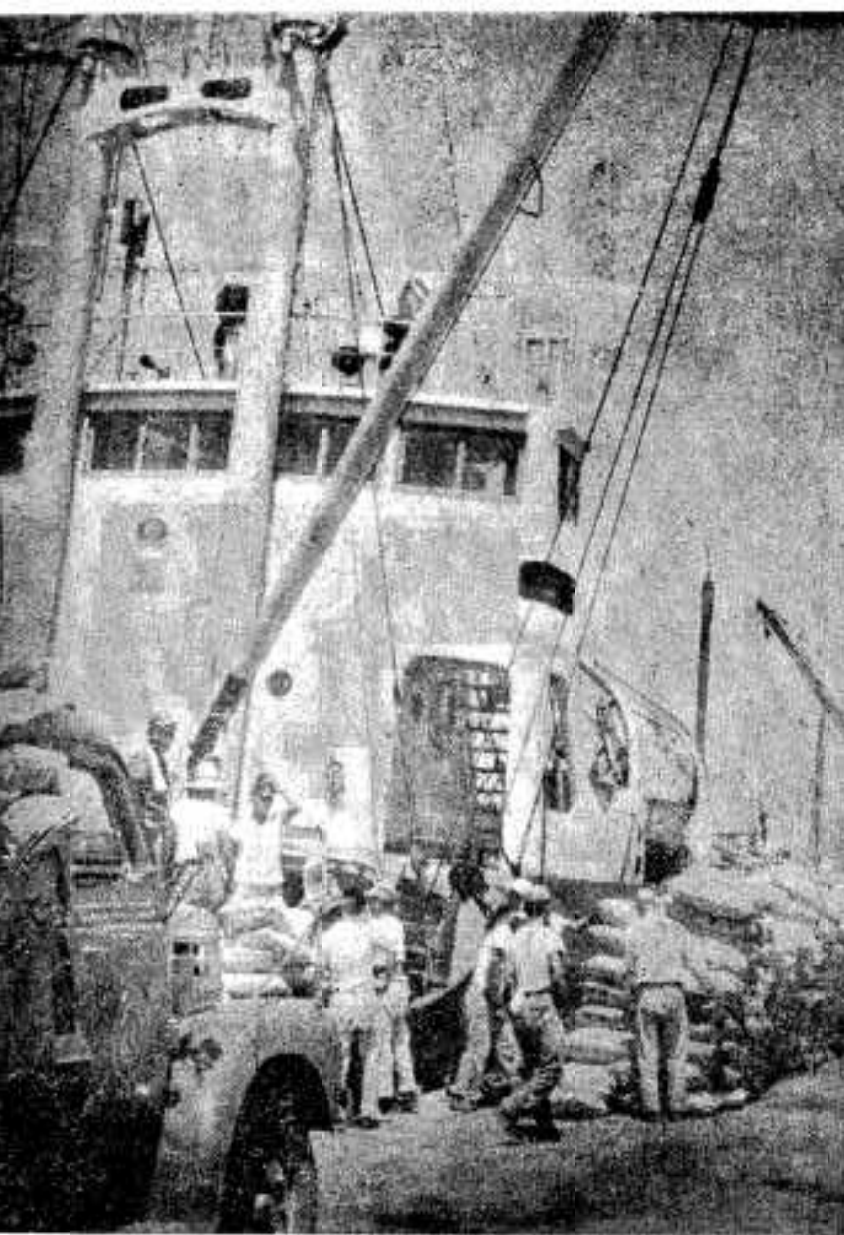


粉を積みおろす鋼船でにぎわい、広場には特産の猛宗竹がいつばい積まれています。

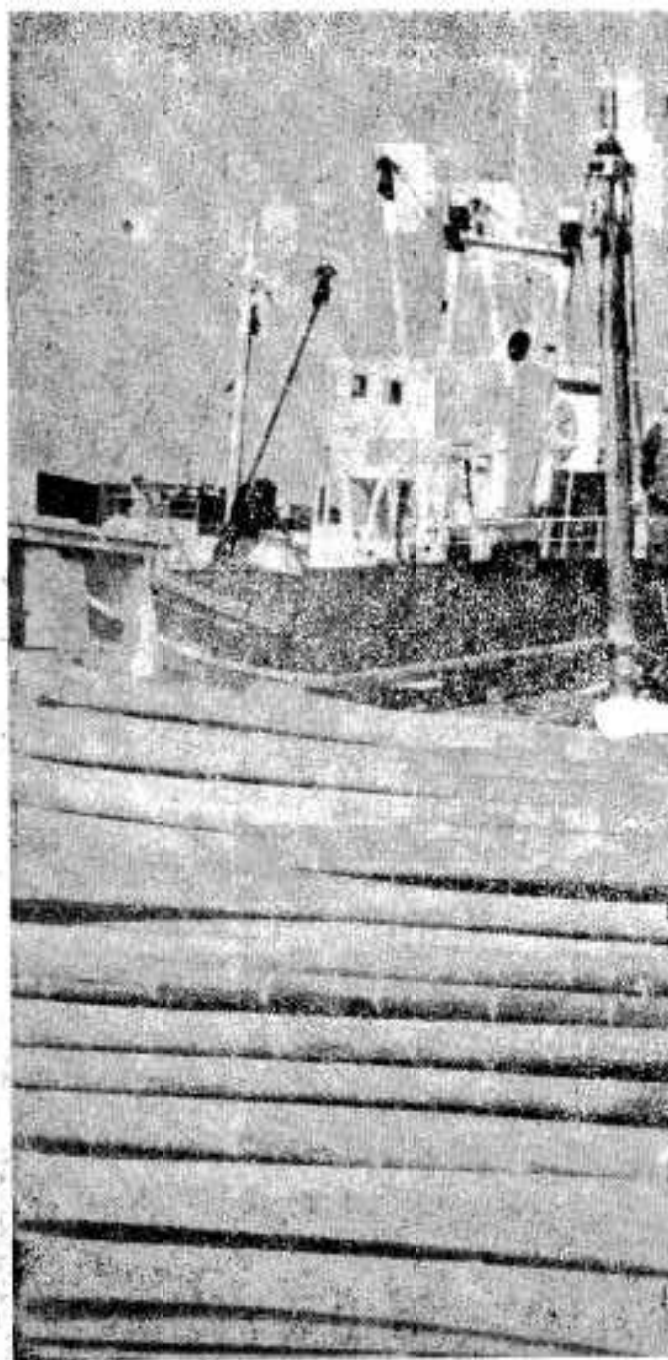


五カ年計画、四億円の阿久根新港建設も、二年目を迎え、着々と工事が進められています。





阿久根はもさろん、北産でつくられたでん粉は、
全部この阿久根港で、船積みされます。



阿久根港は、パル



出水製紙・中越パルプの原材料や製品も、阿久根
港から、つみ出されます。





護岸や港附近にほされ、みごとな模様をしています。



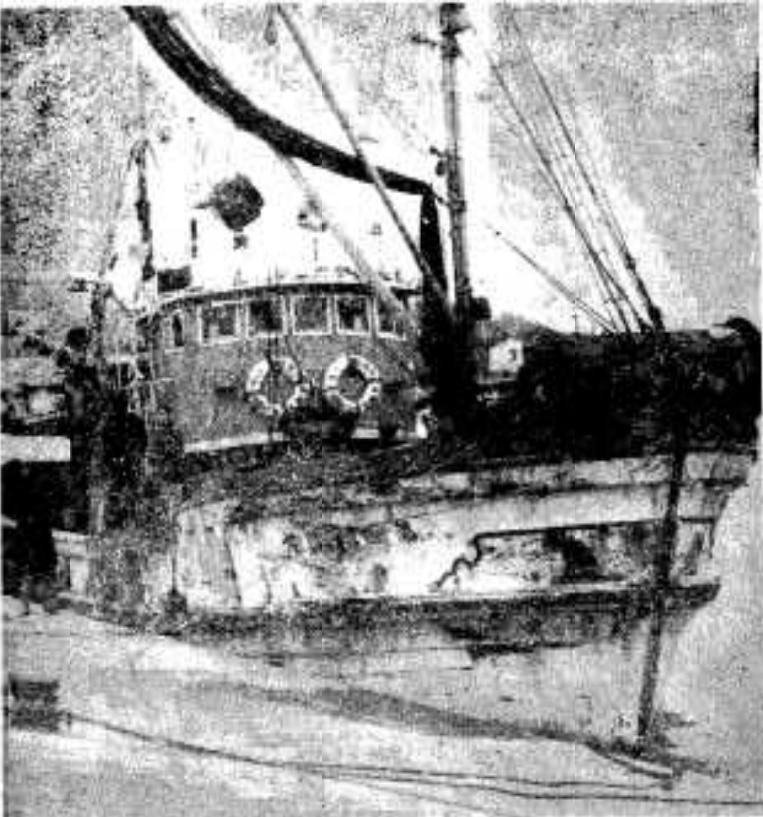
天草、飯島方面の鮮魚も、阿久根港で水揚げします。



で選別され、またたく間に箱づめされます。



水揚げを待つ船や、水をつむ船でいつばいの阿久根漁港



氷や食糧をつみこみ、出航しようとしている漁船



「いりこ」も阿久根の特産です。天気の良い日には、



鮮魚の選別から箱詰め整理まで、いつさいが、ほとんど女手で進められます。



船から水揚げされた鮮

焼れた手先き



県下で、もつとも遅れていたといわれる国道の整備も、国道事務所を誘致してから急に
進み、現在ではご覧のとおり市内全線の6割から7割が舗装されました。



折口附近・大川と牛之浜間は、ただ今、国道整備工事も甚高に
進み、カーブやこう配を直しています。間もなく、舗装された
白いベルトがのびることでしょう。





高松川防災ダムの建設工事も始まりました。まず、資材を運ぶとりつけ道路の建設が進められています。



ほとんどが岩盤ばかり、さく岩機が大いに働いています。



谷間をぬつて工事は進められ、発破のこう音があたりにこだましています。



赤瀬川の九州皮革工場では、技術を修得に行っていた人たちの腕を磨くため、作試品が作られ、操業への準備が進められています。皮を裁断する手先きに力がこもります。

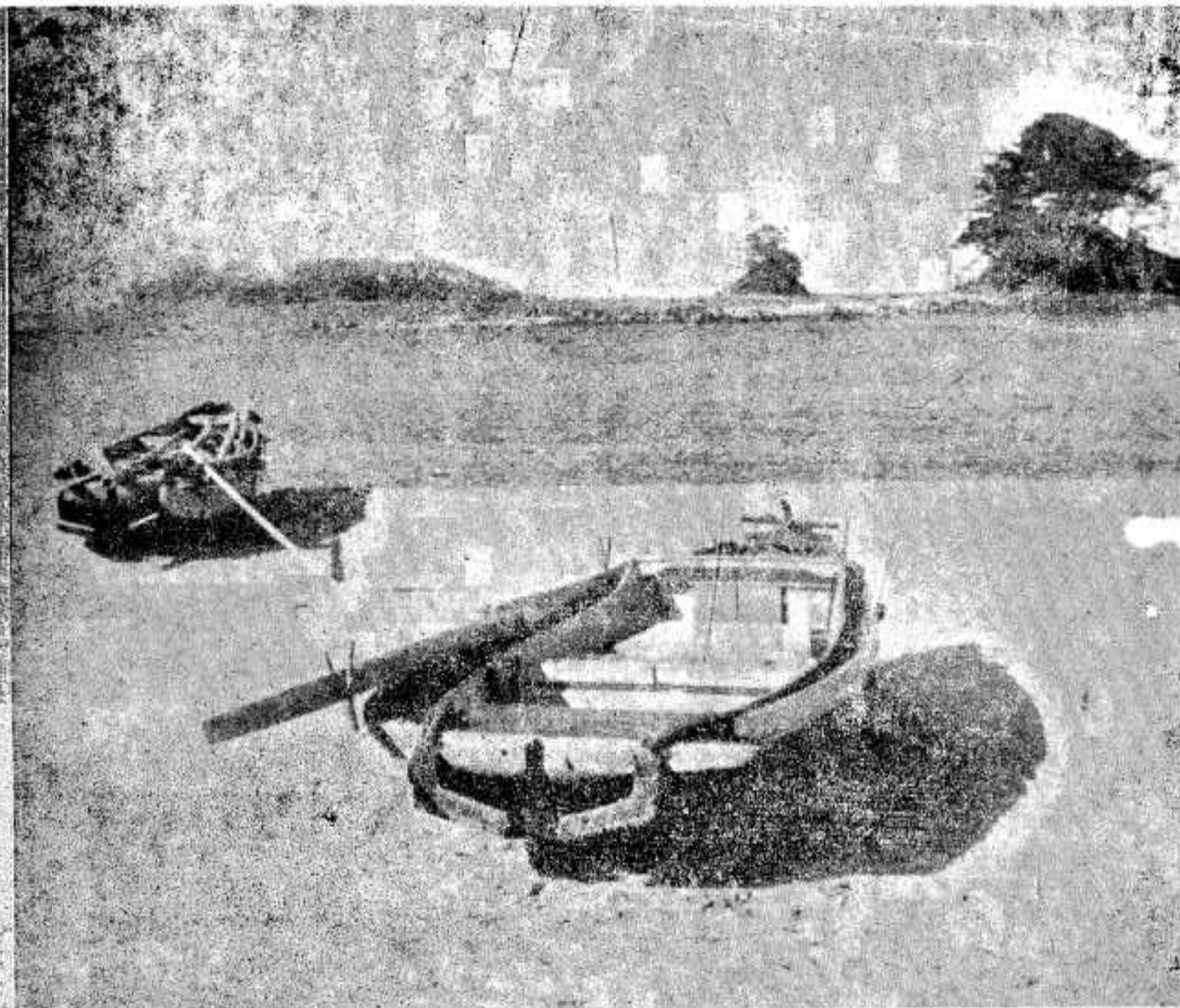


裁断された皮は、ミシンに回され、いろいろ研究、討論されながら、手際よく縫われます。

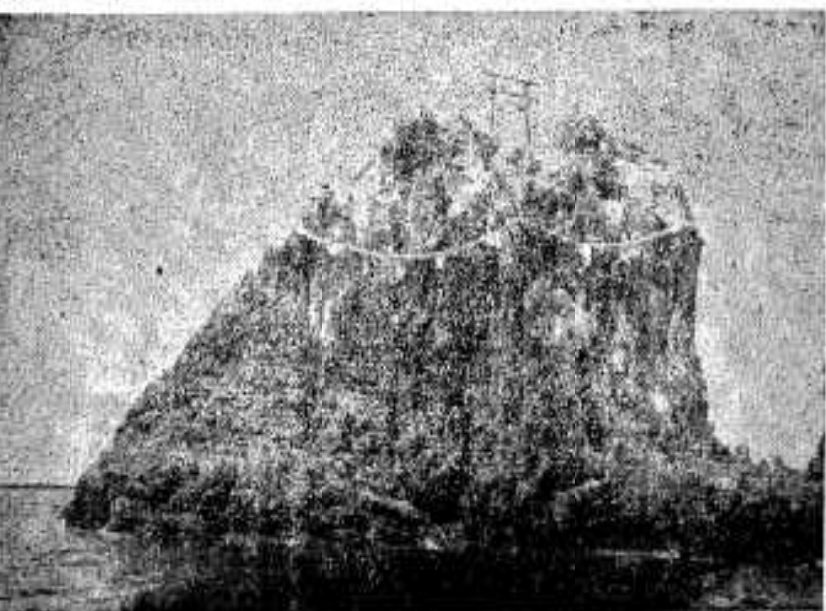


底皮づけなど、ほとんどの工程が機械化され、またたく間に靴ができあがっています。

阿久根大島は、野性原の大島、キャンブの大島として、九州各地から、客を集めました。



阿久根を代表するのが、この小松原付近から眺めた阿久根の島々です。夕日のしづむころの大島、桑島、小島、元島はまことに一ぶくの絵です。



牛之浜海岸の「すすめ湯」には地元有志の方々により、鳥居やしめ縄が張られ、観光に役買っています。





の一つとして、大いに成果を期待されます。



家族そろってポンタンの収穫



れ、野菜の開始に新しい面をつくり出しました。



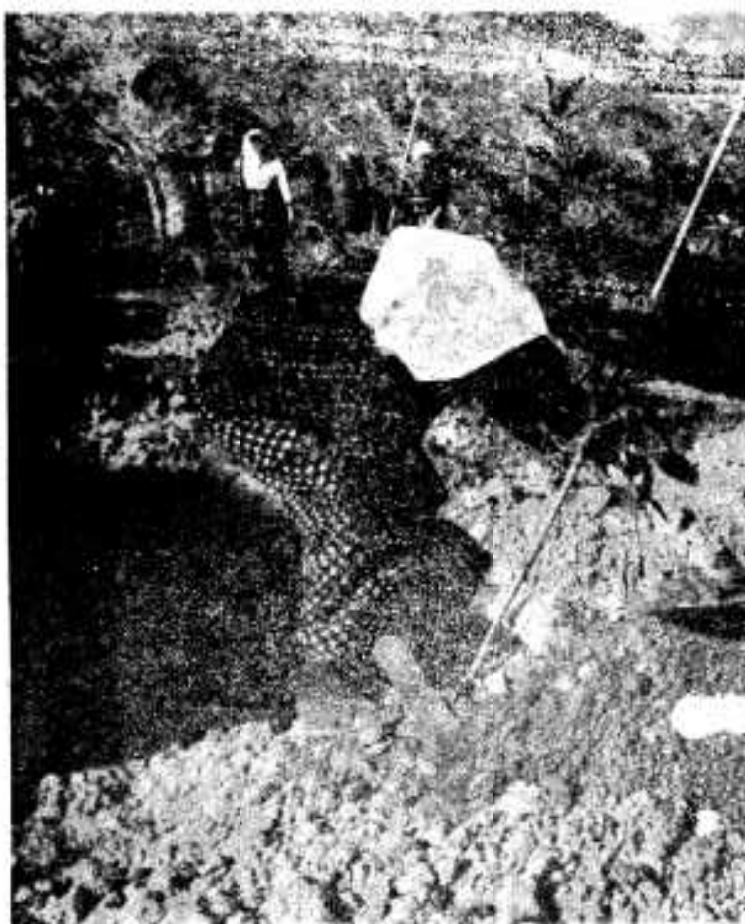
ポンタンつみ



年末は、ポンタンも青果として阪神地方にの



枝もたわわのみかん。



温州みかんの新植も各地区で進められ、農業構造改善



抑制トマトを始め、各種の換金作物も盛んにつくられています。



野菜市場に並べられた農産物。



野菜市場ができ、連日早朝から成勢のよい「せり」が続けら

